

えんだより

2021年
3月号



NO. 180
シャローム三育保育園

コロナに始まりコロナ一色の一年間でした。先月はウイルス性胃腸炎の発生もありましたが、感染範囲が最小限で治まったことは、日頃から感染症対策にご協力いただいているおかげであると感謝しております。この一年の大きな生活環境の変化の中でも、子どもたちなりに現状を受け入れながら成長している姿に、いつも励まされ子どもたちの笑顔が原動力になっています。残り一ヶ月でまた新しい一年間が始まりますが、一日も早く安心して生活が送れる日が来ることを願っています。

園長 村上 渉

- * 掲示板練習メッセージ3月1日頃配信いたします
- * 避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 礼拝	2 体操教室	3	4 英語教室 (3.4.5 歳児)	5 卒園遠足	6
7	8 礼拝	9 体操教室	10	11 英語教室 (3.4.5 歳児)	12	13
14	15 礼拝 お別れ会	16 体操教室	17 誕生会	18 卒園式	19	20 春分の日
21	22 礼拝	23	24 避難訓練	25 英語教室 (2.3.4 歳児)	26 保育園 職員会議	27
28	29 礼拝	30	31 進級式			



「ふるさと」

三月といえば「ひな祭り」桃の節句です。三月中旬には桜も咲き始め、まさに春の到来ですね。特にこの季節になると自分のふるさとを思い出します。以前にも書いたことがあります。私のふるすとは福島県の三春町というところ。樹齢千年以上といわれる「滝桜」で知られており梅、桃、桜の開花が重なることが「三春」の由来だそうです。町のいたるところに滝桜の子孫が植えられており、初めての人はどれが本物か見分けがつかないほどです。でも、本物を見れば一目瞭然、一見の価値ありです。

もう一つ、三月は東日本大震災を思い出します。先日も大きな地震があり、十年経っても「余震」と思いましたが「地球の歴史から見れば十年はほんの一瞬です」とニュースのコメントに納得してしまいました。震災当時私が勤務していた地域では、津波や原発事故で故郷を離れ避難してきた方々の転居先として地域ぐるみで受け入れを行っていました。仕事で避難してきた人たちと話す機会があり、私の出身地が東北だと分かると「いつから避難して来たのかい」と間違われたりもしましたが、同じ地方の出身だというだけで親近感が湧き、私も嬉しかったことを覚えています。共通点があることで繋がれるっていいなと思いました。

子どもの頃に遊んだことや、場所、ともだちの事等は幾つになっても覚えているものです。子どもにとっては“ここ”がふるさとです。いつでもどんな時でも家族の存在が支えとなり、楽しい思い出をたくさん作って、安心できる「ふるさと」であってほしいです。

園長

